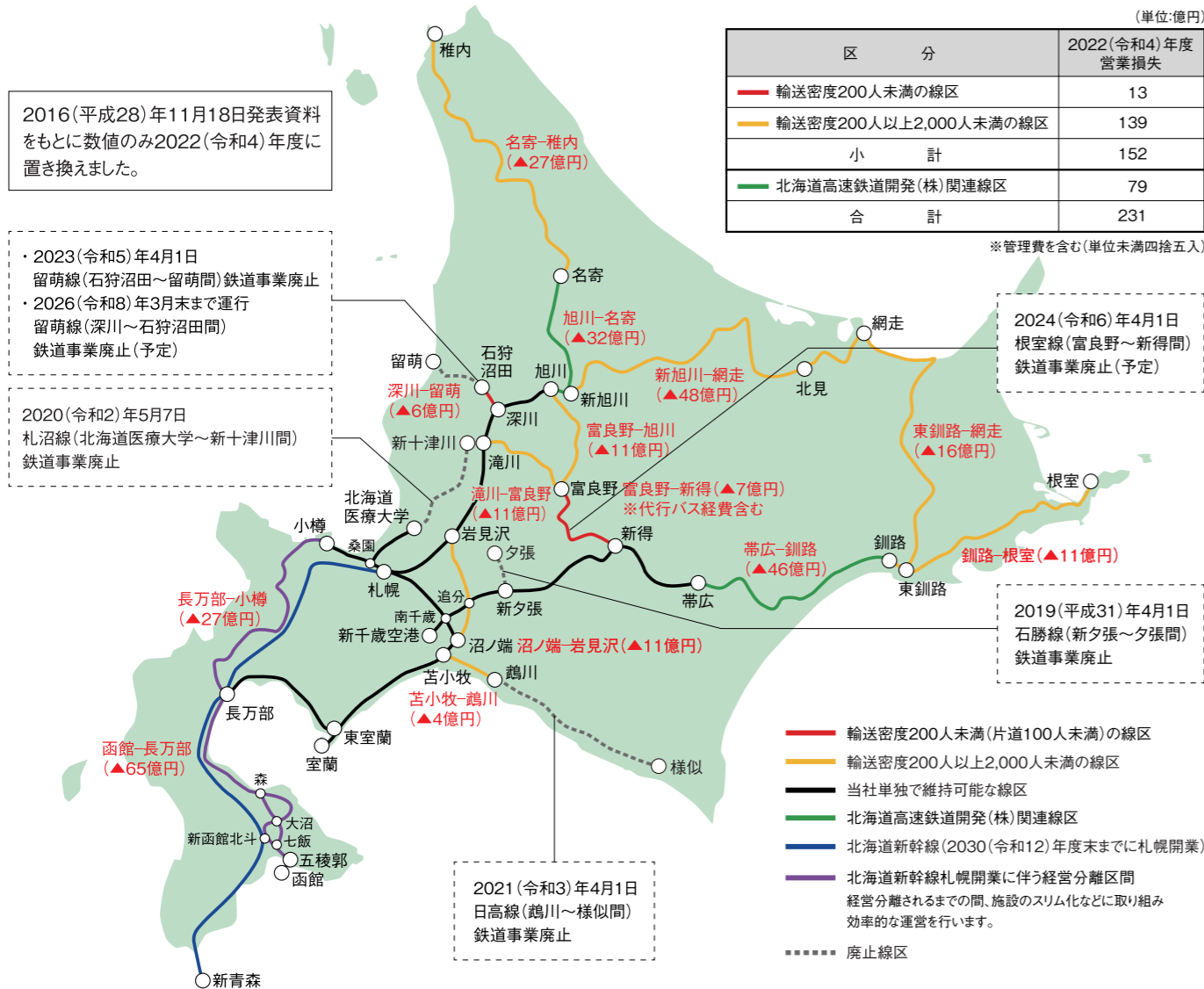


持続可能な交通体系の構築に向けた取り組み

当社単独では維持困難な線区において、地域の皆様と一体となり、持続可能な交通体系の構築を進めています。

当社単独では維持することが困難な線区



監督命令(2018(平成30)年7月)

<鉄道よりも他の交通手段が適しており、利便性・効率性の向上も期待できる線区>
地域の足となる新たなサービスへの転換を進める。

<利用が少なく鉄道を持続的に維持する仕組みの構築が必要な線区>
2019(令和元)年度及び2020(令和2)年度を「第1期集中改革期間」とし、JR北海道と地域の関係者が一体となって、利用促進やコスト削減などに取り組み、持続的な鉄道網の確立に向け、2次交通も含めたあるべき交通体系について、徹底的に検討を行う。
第1期の検証を行い、着実な取り組みが行われていることを前提に、2021(令和3)年度から2023(令和5)年度までの「第2期集中改革期間」に移行する。
取り組みの結果を毎年度検証し、最終年度(2023(令和5)年度)には総括的な検証も行う。利用者数等の目標に対する達成度合い等を踏まえ、事業の抜本的な改善方針についても検討を行う。

鉄道事業廃止後の街づくり(交通結節施設の充実)

新たな交通体系転換後の街づくりが進められています。

●夕張市拠点複合施設「りすた」

「りすた」は、行政の窓口機能などの公共的な機能を集約・複合化するとともに、交通結節機能や子育て支援機能を有する複合施設として、夕張市が建設しました。



●当別町乗継施設「バスタッチ」

鉄道とバスとの乗換の結節点としてバリアフリー対応の待合室を備えた乗継設備を北海道医療大学駅に新設しました。



赤線区(輸送密度200人未満の線区)

関係自治体と協議を続け、2023(令和5)年3月30日、根室線(富良野～新得間)においてバスを基軸とした新しい交通体系に転換することで合意しました。これにより当社がバス等への転換についてご相談させていただいた5線区の一方向性が決まりました。地域公共交通の将来のため、関係者の皆様には苦渋のご決断をいただいたことについて重く受け止めています。

■根室線(富良野～新得間)

- 富良野～新得間は2024(令和6)年4月1日に廃止することで地域の皆様と合意しました。
- 2024(令和6)年4月以降の新しい交通体系は沿線の生活交通を確保する観点から既存路線バスの延伸と増便により富良野～幾寅間を運行するとともに、南富良野町営バスの拡充により同町内及び同町と富良野・トマムを結ぶ路線を運行します。また、上川～十勝間の圏域間の移動を確保する観点から既存都市間バスの増便と落合への新規停車を行います。

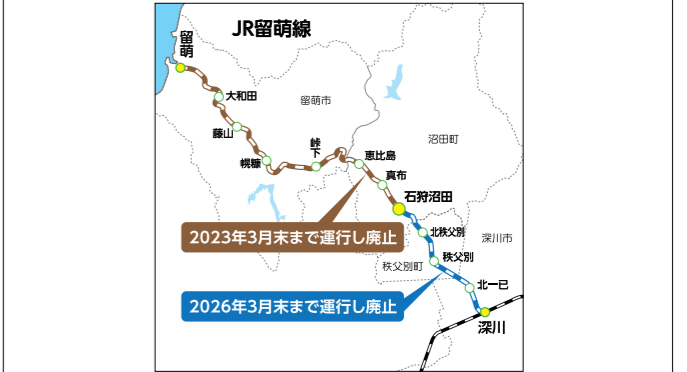
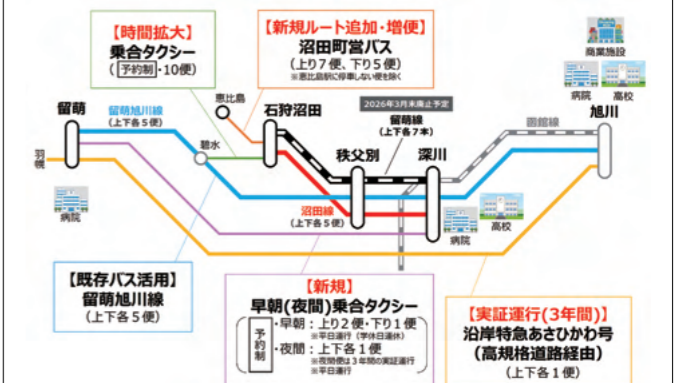
【各路線の概要及びルートイメージ】



概要	① 沿線の生活交通の確保(金山地区)	② 沿線の生活交通の確保(幾寅・落合地区)	③ 沿線の生活交通の確保(山部・幾寅地区)	④ 上川～十勝間の圏域間移動(富良野～新得間直通)
運行事業者	南富良野町(町営バス)	東鹿越～トマム3往復	ふるのバス	道北バス、十勝バス 北海道拓殖バス
ルート・想定本数	富良野～金山3往復	幾寅～落合1往復(デマンド)	富良野～幾寅6往復	旭川～(富良野・南富良野・新得)～帯広 既存・2往復
備考	富良野又は幾寅と各地域を結ぶ 幾寅～北落合+下金山～北落合は、朝晩の町営スクール便・タクシー&日中デマンドバスに対応		富良野と幾寅を結ぶ 既存の西道布線をベースとした路線	富良野と新得を結ぶ 既存都市間バス(バスライナー・岩手線経由)3往復からの増便、落合停車

■留萌線(深川～留萌間)

- 石狩沼田～留萌間は2023(令和5)年4月1日に廃止しました。また、深川～石狩沼田間は2026(令和8)年3月末まで運行し廃止することで地域の皆様と合意しました。
- 2023(令和5)年4月以降の新しい交通体系は既存バス路線(留萌旭川線)を活用し地域の広域移動を確保するとともに、路線バスの運行のない早朝、夜間に乗合タクシー(予約制)を新設し、通学手段の確保と都市での滞在時間の拡大を図りました。



■日高線(鶴川～様似間)バス転換後の主な取り組み

- 2021(令和3)年4月1日にバス転換を行いました。当社は沿線7町からなる「日高地域広域公共交通対策確保協議会」での議論に引き続き参画し、新しい交通体系が地域に根付き、持続的に維持されるよう2022(令和4)年4月バスダイヤ改正や新車導入に伴うイベント等に協力しています。
- ①最大のお客様である通学生の利便性向上(登校バス6便新設・既存路線バスの高校乗り入れ等)
- ②日常利用(通院・買い物)の利便性向上(停留所10か所増設)
- ③きめ細かなニーズへの対応(短絡ルート(国道経由)と市街地立ち寄りルートの時間帯使い分け)
- ④広域の通院や買い物等の利便性向上(えりも～苫小牧間直行の特急バス「とも号」新設)
- ⑤当社のHPに列車と日高地域広域公共バスの接続時刻表を掲載しました。
- ⑥2021(令和3)年11月、道南バスはノンステップバス5両の新車を導入しました。
- ⑦日高地域広域公共バスのPRポスターをJR主要駅にも掲出しました。
- ⑧2022(令和4)年4月から、日高エリアを広域周遊できる「日勝半島物語きっぷ」の発売を開始しました。
- ⑨2022(令和4)年6月、ジェイ・アール北海道バスはエレベーター付きの都市間バス1両、ノンステップバス4両の新車を導入し、ICカードの利用可能エリアを日高エリアにも拡大しました。



黄線区(輸送密度200人以上2,000人未満の線区)

鉄道を持続的に維持する仕組みの構築を進めるため、当社と地域の皆様が一体となって、利用促進や経費節減などの取り組みを進めています。

第2期アクションプランの最終年度

2018(平成30)年7月に受領した監督命令では、「ご利用が少なく鉄道を持続的に維持する仕組みの構築が必要な線区」(黄8線区)において、第2期集中改革期間(2021(令和3)年~2023(令和5)年度)の最終年度(2023(令和5)年度)に「総括的な検証」を行い、その際、「事業の抜本的な改善方策」についても検討を行うこととされています。現在、地域の皆様と調査事業、実証事業について検討・準備を行っており、その結果を踏まえて、「総括的な検証」、「事業の抜本的な改善方策」の検討につなげていきます。

調査・実証事業は公共交通利用実態調査、鉄道・バス共通時刻表、くしろ湿原ノロッコ号の臨時運行、フラノラベンダーエクスプレス延長運転、バスとの連携事業、高校・病院直通バスの実証運行など様々な取り組みを計画しています。

2022(令和4)年度事業計画(アクションプラン)具体的な取り組み例

釧網線(釧路~網走間)

「くしろ湿原ノロッコ号」川湯温泉延長運転



(10月3日撮影・川湯温泉駅/車内)

釧路駅から塘路駅を運行している「くしろ湿原ノロッコ号」を10月3日に川湯温泉駅まで延長運転しました。列車内では標茶高校生による観光ガイド、車内販売を実施しました。標茶駅、川湯温泉駅では特産品の販売、ワインの試飲会を開催しました。

花咲線(釧路~根室間)

「すずらん贈り」の実施



(6月9日撮影・厚床駅)

6月9日、厚床中学校の生徒11名が初夏の風物詩「すずらん贈り」を実施しました。校内に自生している「すずらん」を一輪ずつラッピングし、手作りの「また根室に来て下さい」等と書かれた短冊と共にご乗車のお客様にプレゼントしました。

石北線(旭川~網走間)

石北線全通90周年バックヤードツアーの実施



(9月19日撮影・北見駅/北見駅~上川駅間車内)

北見市は、9月19日、石北線全通90周年の取り組みとして、「JR石北本線バックヤードツアー」を実施しました。鉄道を支える保線の日常業務や災害の発生状況とその対策等について、北見駅~上川駅間の車内等でパネルにより説明し、参加者に保線業務の理解を深めていただきました。

宗谷線(旭川~稚内間)

「子ども鉄道乗車体験」の実施

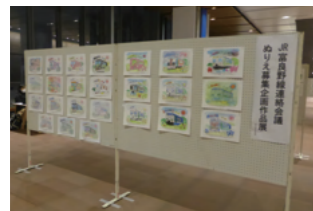


(10月15日撮影・稚内駅/幌延駅)

宗谷総合振興局は10月15日・29日の2日間、「公共交通に乗り学ぼう!~子ども鉄道乗車体験」を実施しました。管内市町村在住の小学生66名が稚内駅~幌延駅間の特急列車に乗車しました。

富良野線(富良野~旭川間)

「キハ150形車両のぬり絵」の展示



(12月17日撮影・旭川駅)

JR富良野線連絡会議は、鉄道への関心を高めるため、「キハ150形車両のぬり絵」を沿線各市町で初めて募集しました。未就学児童が描いた185点のぬり絵を12月17日から25日まで旭川駅で展示しました。

根室線(滝川~新得間)

「JR根室本線の見どころMAP」を作製



根室本線対策協議会は、駅周辺の魅力ある観光スポットなどを紹介した「JR根室本線の見どころMAP」を作製しました。地域住民に配付し、根室線への関心を高めていただき、鉄道利用機会の拡大に結び付ける取り組みとしています。

日高線(苫小牧~鶴川間)

浜田浦駅の廃止による維持管理費の節減



(3月17日撮影・浜田浦駅)

地域の皆様のご理解をいただき、3月のダイヤ改正で浜田浦駅を廃止しました。廃止前日(3月17日)には、同駅において地元住民、町関係者の皆様によるセレモニーが行われました。

室蘭線(苫小牧~岩見沢間)

室蘭線130周年記念団体列車のおもてなし実施



(9月24日撮影・岩見沢駅/追分駅)

9月24日、JR室蘭線活性化連絡協議会や観光協会等は、「室蘭本線130周年記念号の旅」にあわせ、停車駅にてお出迎えとお見送りを行いました。また、追分駅では、特産品販売やPRイベント等を実施しました。

2022(令和4)年度 線区別の収支とご利用状況

線名・区間	営業キロ(km)	輸送密度(人/日)	収支(百万円)						営業係数(円)	
			営業収益(A)	営業費用			営業損益		営業損益(B)/(A)	営業損益(D)/(A)
				鉄道計(B)	管理費(C)	営業費用(D)=(B)+(C)	管理費除く(A)-(B)	管理費含む(A)-(D)		
1 根室線 富良野~新得	81.7	53	26	554	167	721	△528	△696	2,140	2,786
2 留萌線 深川~留萌	50.1	170	67	542	83	626	△476	△559	812	937
1~2 計	131.8		93	1,097	250	1,347	△1,004	△1,254	1,183	1,453
3 宗谷線 名寄~稚内	183.2	209	304	2,605	376	2,981	△2,301	△2,677	856	980
4 根室線 釧路~根室	135.4	190	158	1,116	174	1,290	△958	△1,132	708	818
5 根室線 滝川~富良野	54.6	266	87	1,039	151	1,190	△952	△1,103	1,197	1,371
6 室蘭線 沼ノ端~岩見沢	67.0	326	100	1,028	141	1,170	△928	△1,069	1,025	1,166
7 釧網線 東釧路~網走	166.2	294	271	1,632	246	1,877	△1,361	△1,606	602	692
8 日高線 苫小牧~鶴川	30.5	398	38	348	54	402	△310	△364	909	1,049
9 石北線 新旭川~上川	44.9	643	195	1,242	169	1,410	△1,047	△1,215	637	723
10 石北線 上川~網走	189.1	498	640	3,709	564	4,273	△3,069	△3,633	580	668
11 富良野線 富良野~旭川	54.8	1,053	296	1,237	191	1,428	△941	△1,132	418	483
3~11 計	925.7		2,089	13,956	2,065	16,021	△11,867	△13,932	668	767
1~11 計	1,057.5		2,181	15,052	2,315	17,368	△12,871	△15,186	690	796
12 石勝・根室線 南千歳~帯広	176.2	2,905	4,412	7,691	1,040	8,731	△3,279	△4,319	174	198
13 室蘭線 長万部~東室蘭	77.2	3,551	2,130	3,995	519	4,514	△1,864	△2,383	188	212
14 室蘭線 室蘭~苫小牧	65.0	5,026	2,574	4,739	633	5,371	△2,165	△2,797	184	209
15 函館線 岩見沢~旭川	96.2	6,164	4,233	7,452	997	8,449	△3,219	△4,216	176	200
16 札沼線 桑園~北海道医療大学	28.9	14,475								
函館線 札幌~岩見沢	40.6	32,776								
千歳・室蘭線 白石~苫小牧	68.0	38,410	36,515	38,340	5,343	43,683	△1,825	△7,168	105	120
函館線 小樽~札幌	33.8	36,353								
17 宗谷線 旭川~名寄	76.2	972	479	3,219	443	3,663	△2,741	△3,184	673	765
18 根室線 帯広~釧路	128.3	904	1,007	5,009	680	5,690	△4,002	△4,683	497	565
19 新幹線 新青森~新函館北斗	148.8	3,095	6,874	16,693	3,058	19,751	△9,819	△12,877	243	287
12~19 計	939.2		58,224	87,138	12,714	99,852	△28,913	△41,627	150	171
20 函館線 長万部~小樽	140.2	479	373	2,706	340	3,046	△2,333	△2,674	726	817
21 函館線 函館~長万部	147.6	2,715	3,381	8,645	1,209	9,854	△5,264	△6,473	256	291
20~21 計	287.8		3,754	11,351	1,549	12,900	△7,597	△9,146	302	344
合計	2,284.5	4,047	64,160	113,541	16,579	130,119	△49,381	△65,960	177	203
鉄道事業計	2,284.5	—	67,286	—	—	133,841	—	△66,555	—	—

※合計には、出向社員給与などを含まないため、鉄道事業計とは一致しません。

(注) 1.管理費とは、本社・支社の鉄道事業部門や、総務・経理などの一般管理部門の従業員に係る、人件費や物件費などのことです。
2.営業係数とは、100円の営業収益を得るために必要な営業費用の指数をいいます。

ご利用の少ない駅の状況(2023(令和5)年4月1日現在)※1

路線	区間	(単位:箇所)	
		1名以下	1名超10名以下
函館線	函館~長万部	1	10
	長万部~小樽	1	4
	小樽~札幌	0	0
	札幌~岩見沢	0	0
	岩見沢~旭川	0	0
札沼線	桑園~北海道医療大学	0	0
千歳・室蘭線	白石~苫小牧	0	0
石勝・根室線	南千歳~帯広	0	3
室蘭線	長万部~東室蘭	0	5
	室蘭~苫小牧	0	2
	沼ノ端~岩見沢	0	2
日高線	苫小牧~鶴川	0	0

路線	区間	(単位:箇所)	
		1名以下	1名超10名以下
根室線	滝川~富良野	0	3
	富良野~新得	0	3
	帯広~釧路	0	4
	釧路~根室	0	11
釧網線	東釧路~網走	0	11
留萌線	深川~石狩沼田	1	1
宗谷線	旭川~名寄	0	4
	名寄~稚内	11	7
石北線	新旭川~網走	1	9
富良野線	富良野~旭川	0	3
合計		15	82
全駅数			334
調査対象駅数※2			327

※1 当社実施 乗降人員調査(特定日調査)における5年(2018(平成30)年~2022(令和4)年)平均の乗車人員
ただし、次の2駅は2022(令和4)年単年の調査結果による
・札沼線オイスタウン駅:2022(令和4)年3月12日新設のため
・宗谷線名寄高校駅:2022(令和4)年3月12日旧・東風連駅が移設・改称のため
※2 下記の駅は、非計上
・新幹線駅(新函館北斗・木古内・奥津軽いまべつ) ・季節営業駅(細岡・原生花園) ・バス代行実施中の駅(幾寅・落合)